

# 官民連携のまちづくり

都市は常に変わり続ける可能性を秘めています。  
東京も決して完成することのない街として、  
未来に向けた様々な開発計画が官民一体で進められています。



都市再生緊急整備地域内では、東京の更なる国際競争力の強化に向けたプロジェクトが進んでいます。

提供：[渋谷駅] 東急電鉄



渋谷駅地区の改良、駅前広場の整備、再開発などを一体的に進め、乗換え経路の複雑さを改善しています。



官民連携で組織された協議会が作成したガイドラインに基づいて、まちづくりを進めています。



環状2号線の新橋・虎ノ門区間は長年にわたり事業化できずにいました。しかし、1989年に創設された立体道路制度（道路上空の建築を可能とする制度）により、地域住民の協力の下、道路事業や再開発が進展しました。都が施行者となり民間のノウハウも活用することで、敷地内の建物の集約化を図り、国際競争力の強化につながる多様な機能やオープンスペースなどを創出する「虎ノ門ヒルズ」が誕生しました。



①日比谷公園丸の内盆踊り ②恐竜ビレッジ in アーバンドック ららぽーと豊洲 ③六本木ヒルズ 10周年記念イベント

## エリアマネジメントによる魅力的なまちづくり

都内各地で、地権者等による良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、主体的な取組が進んでいます。公開空地等を活用したオープンカフェの設置や、イベントの開催などが行われています。東京都でも、地域の特性をいかし、まちの魅力を高める団体の活動を支援しています。

### COMMENT >> MIKI YASUI

保井美樹 法政大学現代福祉学部教授

国内外でエリアマネジメントを研究し、近年は、政府・自治体の委員や地域まちづくり団体のアドバイザー等として、積極的に提言や活動支援を行っている。博士(工学)

## それぞれの街の魅力を際立たせるエリアマネジメントの試み

都市に、規模や機能だけでなく、その街ならではの楽しさ、暮らしやすさ、安心・安全など、幅広い魅力が求められる時代となった今、「この街をこうしたい」というビジョンが地権者・事業者や住民などによって内発的につくり、行政と一緒に実現されていく「エリアマネジメント」の仕組みが必要です。東京にはそのフロントランナーとなる街がたくさん生まれています。魅力的なストリートを創出し、オフィス街から多様な楽しみがある街へ進化した大丸有地区、再開発の際に周辺の学生を呼び込んで地域コミュニティを活性化させた神田淡路町「ワテラス」、民間再開発と区立公園を一体化して魅力を高めた東京ミッドタウンなど、特に公共的な空間を有効に使って、街に新たな活動や交流の場を生み出す取組が多く見られます。このように公共的空間の創出や魅力づくりに重点を置いた東京のエリアマネジメント事業は、アジアをはじめ世界各国の注目を集めており、そのための公民連携や組織開発には、ますますの発展が期待されます。



④神田・ワテラス：地域との交流をコンセプトに小学校跡地を含む敷地が再開発されました。  
⑤東京ミッドタウン：隣接する公園と広場を活用しています。



提供：[日比谷公園丸の内盆踊り] 千代田区観光協会